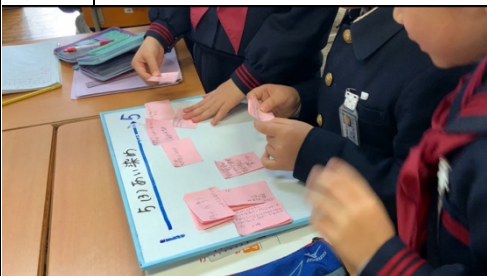


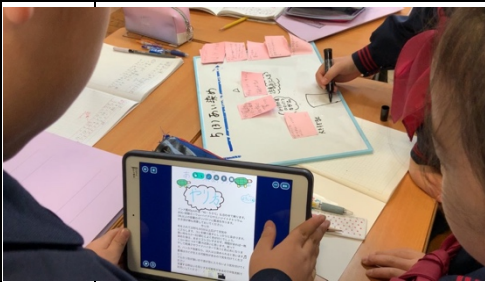
総合的な学習の時間 3年

単元名:「染めよう! 色々なものを明るく、楽しく、きれいに! 3年3組 宝物大作戦」(60/70)

<p>本時のねらい 友だちからもらった感想カードの内容について、「染め物ブックをつくる目的」や「染め物ブックを送る相手」に基づき、自分たちの思いや願いに合っているかという視点で取捨選択したりスケールチャートに位置付けて優先して取り入れる感想を決めたりすることを通して、理由を説明しながら優先順位を考えることができるようにする。</p> <p>評価規準 友だちからもらった感想カードの内容について、理由を説明しながら優先順位を考えている。【思考】(発言・振り返り)</p> <p>具体的な児童の姿 「文字ばかりでよく分からなかったと書かれていた。確かに、染め物に興味をもってもらうためには、染めた布の写真も載せた方がいいなと思ったから、この感想カードは一番に取り入れるべきだと思った。」 「私たちは、玉ねぎ染めのページ担当で、プラスの感想カードばかりだったからこのままでもいいかなと思ったけど、他のチームの話聞いて私たちも真似したいところがあったから、次の時間にそのチームと相談しながら、改善策を考えていきたい。」</p>

時間	児童の活動	○指導及び・留意点 ◎評価(方法) ※支援を要する児童への手立て	準備物
5分	1. 本時のめあてを確認する。	○本時の見通しをもつことができるようにする。 ・染め物ブックを作る時に全員で話し合った「目的」や「相手」を確認した上で、染め物ブックをより分かりやすいものにするために、優先すべき感想カードを選んでいくことを確認する。	掲示用思考ツール (スケールチャート)
<p>めあて 染め物ブックをより分かりやすいものにするために必要な感想カードはどれか考えよう。</p>			
25分	2. どの感想カードを優先的に取り入れるか、グループで理由を説明しながら話し合う。	○前時までに整理した感想カードを使い、どの感想カードを優先的に取り入れるか、グループで理由を説明しながら話し合うようにする。 ・グループごとに、具体的な理由を話し合いながら感想カードを取捨選択し、優先順位を考えながらスケールチャートに位置付けるようにする。その際、「染め物ブックをつくる目的」や「染め物ブックを送る相手」を意識しながら考えるようにする。 ・必要に応じて出てきた意見や理由もスケールチャートに書き込むことを確認する。 ・感想カードを取捨選択する中で、他のグループの考えを参考にしたい場合は、移動して尋ねてもよいことを個別で伝える。	感想カード ホワイトボード (スケールチャート) 1人1台 端末(班の代表)



		<p>◎友だちからもらった感想カードの内容について、理由を説明しながら優先順位を考えている。 〈発言分析〉</p>	
<p>10分</p>	<p>3. 各グループで考えたことを出し合い、全体で共有する。</p>	<p>◎各グループで考えた改善策を、全体の場で発表し、共有するようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜその感想カードを選んだのか、具体的に理由も説明しながら発表するようにする。 ・各グループのホワイトボード（スケールチャート）を板書に位置付けたり、必要であればタブレットを活用したりしながら説明するようにする。 ・他のグループで出た考えで取り入れることが出来そうなものは、取り入れてもよいことを確認する。 ・各グループが発表する際、そのグループが作成した染め物ブックのページを TV に映すようにする。そうすることで、聞き手は、説明されている内容と染め物ブックそのものを比較しながら、より目的意識をもって話を聞くことができる。 	<p>ホワイトボード（スケールチャート） 1人1台端末（班の代表）</p>
<p>5分</p>	<p>4. 本時の振り返りを行う。</p>	<p>◎本時の振り返りをノートにまとめるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時、自分が考えたことや友だちの話を聞いて考えたことを振り返り、今後にどう繋げていけばよいかを考えるようにする。 <p>◎友だちからもらった感想カードの内容について、理由を説明しながらグループで話し合ったことを記述している。 〈記録分析〉</p>	<p>全班分のホワイトボード（スケールチャート）</p>

1人1台端末の活用は効果的であったか

◎本時では、各グループ1台のみ準備したことで、基本的にはホワイトボード上で意見を交流し合う姿が見られたが、必要に応じてもらった感想カードとロイロノート上の染め物ブックを見比べながら該当箇所を確認したり、取り入れる感想カードを考えたりすることができ、効果的であった。

▲各グループが前に出て発表する際、そのグループが作成した染め物ブックのページを大型TVに映すようにすると良かった。そうすることで、聞き手は、説明されている内容と各グループが作成した染め物ブックそのものを比較しながら、より目的意識をもって発表を聞くことができたと思う。